

評価シート 様式

取組名	世界に開かれたKUMANOをめざして ～外国人向けATA－Destination Management Companyの設立～		
実施団体名	田辺市ATA推進協議会	対象地域	和歌山県田辺市及び周辺地域
(代表団体名)	田辺商工会議所	推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

・外国人プレンスの招聘を行ったが、海外ガイドブック掲載等による具体的な観光集客効果の発現は、来年度以降となる見通し。

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	世界に開かれたKUMANOをめざして ～外国人向けATA－Destination Management Companyの設立～		
実施団体名	田辺市ATA推進協議会	対象地域	和歌山県田辺市及び周辺地域
(代表団体名)	田辺商工会議所	推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○先導性・モデル性 小規模の宿泊事業所が多く、個別で取り組むには採算性の厳しい外国人を対象とした遠隔地での個人観光(インバウンド観光)の推進に官民一体となって取り組んでいる点で先導性・モデル性がある。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、小規模の宿泊事業所が多く、個別で取り組むには採算性の厳しい外国人を対象とした遠隔地での個人観光(インバウンド観光)の推進に官民一体となって取り組み、地域経済を再生させるという点で地域活性化に寄与する取組であると評価できる、ニーズ調査をふまえた外国人の使いやすい予約システムの構築と、地域住民のホスピタリティのさらなる向上を図りつつ、地方の元気再生事業を継続することにより本格展開に向けて継続的な展開が期待できるものである。 次年度以降の取り組みとしては、本年度把握した外国人のニーズ調査結果をふまえ、外国人が使いやすく・事業者がメンテナンスしやすい共同予約管理システム(総合ポータルサイト)とそれを支えるソフト(特に人材)の育成に重点をおいた取り組みとすべきである。 具体的には、①事業立ち上げに向けた体制の整備については、事業を確実に実施できる体制の整備を実施すべきである。②DMC業務に最適化した管理システムの導入については、システムの利便性に留意しつつ、今後の事業継続性の鍵となる低コスト(開発コスト及びランニングコスト)なシステム開発を実施すべく取り組み内容の見直しを行うべきである。③受け入れ体制の整備については、宿泊施設整備ではなく人材育成に特化すべきであり、取組の見直しが必要である。④地域産品等の活用、輸出販路拡大については、重要な戦略ではあるが、本事業に於いてはまず旅行事業を集中的に検討すべきであり、抜本的に見直す必要があると考えられる。⑤旅行商品開発については、受入体制整備や管理システムとの連携等の検証に重点をおいて取り組むべきである。